

2025年度「ふじのくに多文化共生推進基本計画」進捗評価

1 評価の概要

「ふじのくに多文化共生推進基本計画（以下、基本計画）」の進捗の指標として設定されている数値目標について、県総合計画の評価手法に準じて評価を行う。（2026年4月時点）

2 総合評価

2025年度は、引き続き誰もが理解し合える多文化共生社会の実現を目指し、日本語教育の推進、「やさしい日本語」及び多言語による情報提供に重点的に取り組んだ。

日本語教育の推進については、県と市町が課題解決に向けた検討を行う行政経営研究会において、地域日本語教育の実施を働きかけた。その結果、地域日本語教育を実施する市町が令和7年度は20市町となり、目標値である19市町を達成した。

「やさしい日本語」及び多言語による情報提供については、SNSを活用して合計904件の生活情報や防災情報等を発信し、目標値である500件を大きく超えて達成した。

成果指標は、1指標が目標値以上を達成し、もう1つの指標はBとなった。活動指標は9指標のうち3項目が◎で、4項目が○、2項目が●となった。おおむね計画どおり達成したと評価する。（詳細別紙）

<各指標の達成状況区分>

■成果指標

評価区分	判断基準
目標値以上	「現状値」が「目標値」以上のもの
A	「現状値」が「期待値」の推移の+30%超え～「目標値」未満のもの
B	「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの
C	「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満～「基準値」超えのもの
基準値以下	「現状値」が「基準値」以下のもの

■活動指標

評価区分	判断基準	
	数値目標	維持目標
◎	「現状値」が「期待値」の推移の+30%超えのもの	「現状値」が「目標値」の115%以上のもの
○	「現状値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの	「現状値」が「目標値」の85%以上115%未満のもの
●	「現状値」が「期待値」の推移の-30%未満のもの	「現状値」が「目標値」の85%未満のもの
—	計値等発表前、当該年度に調査なし等	